

研究者のための

ライティング・リトリート

with ワンポイント英文相談

事前申込受付中

ライティング・リトリートとは、英語論文執筆に適した環境を一定期間提供するものです。普段、執筆のための塊の時間がなかなか取れないという研究者の方は、この機会に英語論文執筆という目的を共有する方々と執筆に集中してみませんか。希望される方にはネイティブの英文校正専門家による個別相談の機会も設けます。

会場

創成科学研究機構 4階セミナー室 BC

2018年 **11/26,27,28** 9:00-15:30

申込締切

2018年 **10/26 (金)** 正午

参加可否は10/29日(月)にお知らせします

対象

教員, ポスドク **10**名

- 1) 査読付き英文学術誌への掲載もしくは投稿経験がある方
 - 2) 本学に所属している研究者(特任を含む)
- 応募者多数の場合、助教の方の参加を優先します
論文公刊後、論文のHUSCAP掲載へご協力をお願いします

プログラム

1日目※

9:00集合 スタートアップ・ミーティング(約30分)後、各自個別に執筆、15:30プログラム終了後、各自適宜解散

2日目

9:00集合 各自個別に執筆、15:30プログラム終了後、各自適宜解散

3日目

9:00集合 各自個別に執筆、ラップアップ・ミーティング後(約30分)、15:30解散

※初日の参加は必須です

詳細・申込

URAステーションウェブサイトをご覧ください



昨年3月に実施したプログラムと、プログラム期間、校正相談の対象となるテキストの分量等、異なる内容があります。お申込みの際は、プログラム詳細をご確認ください。

Q & A

Q1 執筆に適した環境とはなんですか

A1 セミナー室に、専用の机と椅子、文房具をご用意します。印刷は、原稿データをお預かりして別室で対応します。執筆に専念いただくため、セミナー室内での携帯電話の使用は不可です。またインターネットへの接続もこちらではご用意しません。先行文献の参照が必要な場合に備えてダウンロードした資料をデータで持参するなど、各自ご準備ください。

Q2 3日間すべて参加しなければならないのですか。また英文校正相談の利用は必須ですか

A2 3日間すべて参加いただける方の参加を優先します。初日の参加は必須です。初日以外の日程について、ご都合の悪い日がある方は、振り替えて実施することも可能です。英文校正相談の利用は希望者のみです。

Q3 過去の参加者はどのようにこのプログラムを活用したのでしょうか

A3 シニア（教授）から若手（助教）まで幅広い教員の方にご参加いただきました。論文のテキスト内容はすでにある程度固まっていた、英語テキストの執筆を開始するという段階で参加される方が多くいらっしゃいました。当初参加者ご自身で予定されていた執筆計画より、進捗が早かったというケース多いようです。また、すでに英文ドラフトをお持ちの方で、ブラッシュアップを目的に参加された方の中には、論文が完成し、次の論文構想に着手する段階まで進んだ方もいます。

Q4 過去に参加したのですが、再度参加することは可能でしょうか

A4 応募者多数の場合は初めての参加者が優先となります。ご相談ください。

続きはURAステーションウェブサイトで



ワンポイント英文相談について

参加者は、リトリートの前に英文テキスト（750単語以内、執筆中の論文の中から個別相談を希望する箇所の抜粋）を提出します。

提出されたアブストラクトは、校正会社FORTEの当該研究分野に特化した専門家による校正コメントをつけてリトリート前にお戻しします。

リトリート期間中に1回（30分程度）、FORTEのエディターにマンツーマンで個別相談する機会を設けます。個別相談では、戻ってきた校正後テキストをもとに、なぜその校正が必要だったのか、意図した内容は校正後の英文に的確に反映されているのか、論文構成、表現など気になる点について自由に相談していただけます。

個別相談の言語は英語です。



Mr. Greg Adams
Managing Editor
FORTE Science Communications

